

常総学院同窓会会報

発行／常総学院高等学校同窓会 編集人／同窓会会報編集委員会 委員長／飯田晃久 印刷／(株)塚田印刷



新渡戸稲造に学ぶ



校長 原田敏和

今日の文明間の対立というべき国際情勢を考えると、私は、八〇年程前に国際社会で活躍した一人の日本人を思い起こします。

その人の名は、新渡戸稲造といえます。東京・京都帝国大学教授、旧制第一高等学校長、東京女子大学初代学長などを歴任し、モンセンスの大切さを説き、人格教育を重視して多くの若者に強い確信と勇気とを与えました。

また彼の深い学識と高潔な人柄から、大正九年（一九二〇年）、国際連盟の初代事務局次長に選ばれ、スイスのジュネーブで国際関係の懸け橋となり、世界平和に大きな貢献をされました。

た。

現在、盛岡市の「先人記念館」館内の「新渡戸稲造記念室」には、大きな英文の書が残されています。それは、彼が7年間に渡る国際連盟事務局次長の役目を終えてジュネーブを去るとき、世界四〇ヶ国、数百人の国際連盟職員が彼に送った送別の辞と署名簿です。

“Dear friend!”とこう書き出しと後に続く文章から、当時、国際政治の最先端にあった国際公務員たちが、如何に新渡戸稲造へ敬愛と親愛の思いを抱いていたかが伝わってきます。中でも最も感動を覚えるのは「あなたは、寛容な東洋の精神を、不寛容な西洋社会に持

ち込んでくれました。それを自らの働きによって私達に教えてくれました」と記されています。

国際公務員の様々な理念や行動が渦巻くジュネーブの地で、彼が如何に平和を願ひ、それを周囲に説いて感銘を得ていたかがわかります。

当時の日本は、西洋に追いつこうとして、西洋の政治や哲学をしきりに勉強していました。そのような時代に、国際平和の本拠地ジュネーブで「東洋の寛容な心を持ち込んでくれた」と評価されたことに、私は胸が熱くなります。

さらに、送別の辞は次のように締めくくられています。「あなたは、平和を守る基地であるジュネーブを去っていく。我々は、あなたにこの合言葉を送ります。

「Pass friend!」と。

国際連盟は、文明が陥った悲惨な世界大戦を二度と起こすまいと誕生した国際組織でした。彼は、その事務局次長として最善を尽くし、平和を守るための国際機関である国際連盟の重要性を各地で説いて歩きました。

「Pass friend!」とは、敵味方のわからない危険地帯を通らなければ

ならない新渡戸稲造のために、仲間が持たせた合言葉なのです。

「ここを通っていくのは、我々の友人だ。通してやってくれ」この言葉ほど彼を勇気づけた言葉はないでしょう。

彼は、日本に帰国後も様々な形で平和のために奮闘し、一九三三年、最後まで平和のために何をすべきかを考えながら、太平洋会議に出席するため訪れていたカナダで亡くなっています。

その後日本は、大変な過程を経て、第二次世界大戦へと突入していくのです。

それでは、なぜこれ程までに国際連盟で新渡戸稲造が、信頼を集めたのでしょうか。

彼の思想の根底には、札幌農学校時代に培われた、人間を取り巻く自然とそれを動かす大きなエネルギーに対する感動と敬いの気持ちがあったからだと思います。

さらには、友人から学んだキリスト教の精神、知性と友人に対する深い親愛、北海道の開拓から豊かな日本を拓こうとする志、それが彼の生き方に大きな影響を与えています。

特に、自然界の摂理、生物の多

様性を認めながら、互いの立場に対する深い理解によって、共に生きようとする精神は、二一世紀を生きる私達にとって、大きな指針、進むべき方向を示してくれているものと思います。

現代社会の在りようは、単なる個人の精神的な豊かさや善意、倫理などで解決できるほど簡単ではありません。

混乱の一端をたどるイラク情勢を目の当たりにして、国際社会に失望感を抱く人達もいます。その一方で、アメリカを含む世界各地で、対話を通じて立場や文明の違いを越え、掛け替えない地球を救おうと活動する人々が現れています。

国際連盟では、二〇〇一年を「文明間の対話の年」として、地球世界の未来に心を痛める二〇名程の人々が集まり、議論を重ね、報告書をまとめています。

文明、文化、人種の違いなど、あらゆる人間の営みを分け、違いを強調することによって断絶が起ります。この断絶を越えようとする深い知恵こそ、まさしく彼が生涯をかけて学び、説き続けた在り方、文明を越えて平和を創りだ

す知恵であったと思います。

彼はこうも言っています。「希望、信仰あるいは想像力の力を借りて将来を見るのでなければ、人間はその重大な使命を全うすることは出来ないであろう。人間は大きな心で人と和していく。絶対的な考えを盾に取り、理屈をひとつも曲げずに他人を残らず小人視して、我ひとり澄めりという心がけでは、世の中は少しも良くならない。どれほどの高い理想を描こうと、実行にあたっては、譲れるだけ譲り、折れるだけ折れていくのが大切である」と。

彼の母親は、彼が一〇歳で盛岡を去って以来、二度と再会することはありませんでした。しかし、その母が息子に度々送った手紙の中で「東京の政府を超え、人類に目を向けて世界に通用する人間になつて欲しい」と記しています。

この秋、長らく五千円札に描かれていた新渡戸稲造は、文学者樋口一葉と交代の時を迎えます。



PTA広報委員会企画

桜井富夫理事長インタビュー

生徒諸君、日本再興の騎士となれ



日本の教育の現状について、頃のお考えをお聞かせ下さい。

日本の私学、ひいては常総学院の歴史的使命について、今こそ真剣に考えなければならぬ時にきていると感じています。

皆さんご存じの通り、日本は、世界でも有数の犯罪急増国家、殊に少年犯罪急増国家になりつつあります。この原因の一つが、日本の教育の在り方そのものにあることは、多くの人々の認めるところであります。まさに教育の在り方が、その根底から問われている時代状況であるといっても過言ではありません。

医師が病気の原因を調べ治療するように、私達も教育の中にある

その原因をしっかりと究明し、新しい時代に対応できる教育を創造しなければならぬと思います。

過日、日本・アメリカ・韓国・台湾・中国の子供達、三〇〇〇人のデータを取ったとき「誰のために生きますか」と尋ねると「自分のために生きる」と答えた子供が、日本では五七%、アメリカでは三二%であったといえます。

自分のためにだけ利益を追求する、さらには自分の利益を実現するために手段を選ばないということになると、それ自体、罪を犯す人の特徴にも通じていきます。

これに先程の調査を重ねてみますと、自分の利益だけを追求すると答えた子供が五七%もいるというところに、私は深い危惧の念を持たざるを得ません。すでに日本社会が犯罪の温床を作ってしまったのではなからうかと。社会生活を送る上での「規範意識」「規範力」について、真摯に見直さなければならぬと思うのです。

また、次のようなデータがあります。現公立中学三年生の数学と理科の年間総授業時数を国別に比較すると、日本が一五八時間、アメリカが二九五時間、オーストラリアが三九〇時間だそうです。日本の将来を思うとき、背筋が寒くなる数字です。

本校が修学旅行で交流している韓国の高校生は、授業を終えての下校は夜一〇時です。学ぶべき時に夢中で学び、将来の国の在り方、世界の在り方を熱く語る生徒達です。本校が韓国の生徒達と相互交流する理由もここにあります。

私学の長い歴史の中の常総学院の歩みについてお話し下さい。

私学の歴史を見るとき、英米には、学問の自由、創設者の意思といったものを大切にされた私立型の教育があります。ケンブリッジ、オックスフォード、ハーバード、エール等がその代表です。これに対して、ドイツのように国家と教育とが表裏一体となった大陸型・国立型の教育があります。

明治以降日本では、ドイツ流の国立型と英米流の私立型とが渾然一体となり、しかも官学優位、官学中心の教育を行ってきました。

その歴史的過程の中であって、戦後第一ステージとして、私学殊に私立中高が、先ずその特色を発揮するために、日本人の本質的な礼節とか、生活態度といった基本的な生活習慣に関する事柄を、学習指導の前提として、公立校以上に確立することをめざしました。

第二ステージは、学習、スポーツ、文化、進路面において、公立校を凌ぐ、成果達成めざしました。本校でも、人生は礼に始まり礼に終わるとの考えに基づき、頭髮や服装等について、生活の基本に根ざした指導展開をしてまいりました。さらに野球部、吹奏楽部を始めとする部活動の発展的展開。学習、進路面では「学力を伸ばすなら、大学に進学するなら常総」と全国的な評価を得ております。

今後の日本の教育、殊に本校の在り方についてお話し下さい。

二一世紀を生きる若者達は、言うまでもなくグローバルな社会の中で生きなければなりません。

資源のない日本では、世界一の教育立国をめざしてきました。それは、日本の国民性とも言うべき勤勉さと手先の器用さを活かすに在り方でした。近代国家、殊に製

造面で、日本は世界を凌駕してきました。しかるに今、日本全体が精神的に弛緩してしまっているように思えてなりません。まさに「国滅びんとする」状況なのです。

本校の使命は、不死鳥のように日本を立て直す騎士、真のリーダーを育てることにあります。日本を立て直し、アジアの友人達、世界の友人達とともに地球世界を創る気概を育てます。高い志と深い知恵とを持ち、誇り高く歩む人物を育てます。夢を描き、自らを律し、努力し続ける人物を育てます。

常総学院の経営陣、教職員は、日本再興の騎士を育てることこそが、本学院の使命であると確信しています。他に利する人間を創ること。地域社会のために、日本のために、世界のためにプライドを持つて貢献の道を生きる人物を創ることに心血を注ぎます。

どうぞ意図するところをご理解頂き、今後ともご指導ご鞭撻の程、お願いいたします。

桜井先生の熱い思いが伝わりました。有り難うございました。

理事長インタビューを終えて

広報委員長 麻生登美子

九月二四日広報紙の取材のため桜井理事長の自宅を訪問させていただきました。日頃から学校において生徒の進学・生活面のお話をしていたのですが、じかに伺ってより身近い感じられるようになりました。アメリカや韓国の子供たちの現況日本の子供たちの現況などなかなか知りえない内容、また常総の子供たちのあるべき姿などザックバランに笑いを交えてのインタビューで参加した3名と先生も話しに引き込まれてしまいました。県内でも有数の進学校、また生活面でもとても厳しい高校として評判の常総学院ですが学校創設の時から理念が息づいているのが感じられました。子ども達がわき道にそれる事無く進学に向けてがんばる姿は親としても常総に通わせてよかったと感じる瞬間ではないでしょうか。インタビュー終了後は理事長自らの運転で自宅付近を案内していただきました。無事取材を終わらせる事ができ有意義な一日を過ごす事ができました。

バドミントン部

磯部和弘

バドミントン部は、今年で創部二〇年を迎えました。その年にアテネオリンピックが開催され、その場に二名の卒業生が出場しました。山本静香（九期生・現ヨネックス）と米倉加奈子（十期生・現ヨネックス）です。現在、日本のバドミントン界のダブルスとシングルの女王である。残念ながらオリンピックでは両名とも緒戦敗退であったが本校そして、バドミントン部においては大変名誉なことであり、私たちの誇りです。このオリンピック達がどのような生徒であったのか。山本は大阪府から米倉は東京都から日本一を目指して本校に入学。そんな二人だが全てが順調だったわけではない。山本は、練習中に怒られ石下町のお城のそこから走らされたり、宇都宮で行われた全国大会では、試合の恐怖から荷物をもって逃げ出したこともあった。また、米倉については、高校二年生の終わり三

月にアキレス腱を断裂するというアクシデントに見舞われた。それから毎日リハビリを行った。ジョイフルアスレチックのプールで朝七時から泳いでから登校し夕方からの練習で上半身のトレーニングをした。半年後インターハイが富山県で行われたが第一シードにあるはずの名前がそこにはなかった。かわりに出場した同級生の中山真理子とそのインターハイで準優勝した。その夜米倉は一人部屋で誰にも知られず悔し涙を流した。

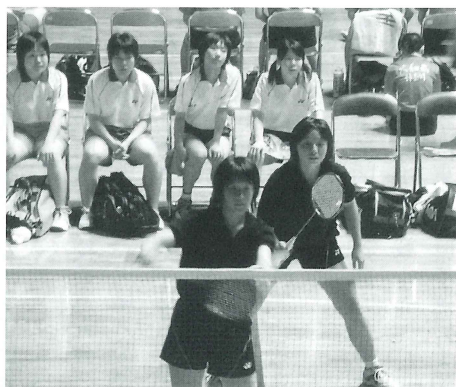
この他にも卒業生で日本のトップで活躍中の選手が数多くいる。私達はそのような頑張っている卒業生を目標に第二第三のオリンピックを目指す選手を発掘・育成している。選手達もそれに応えるよう頑張っている。毎日午後四時から九時まで活動し帰宅は十時を過ぎる。そのような練習をしているのです。だからこそ、それが報われるよう、これからも結果を残していきます。これからも同窓会の皆様の更なる応援をよろしくお願い致します。

OB・OGの協力体制

バドミントン部は、OB・OG抜きには語れない。現在、一年一回正月にOB・OG会を開き交流を深めている。その中で現在練習によく参加して後輩達の面倒をみてくれるOBがいる。一人は、大山宏司（現ヨネックスコーチ）である。私の一つ先輩でインターハイインターカレッジ・社会人といずれもチャンピオンになりナショナルチームの一員でもあった実力者だ。今年一月実業団のトナミ運輸を引退し茨城県に戻ってきた。その後毎日のように練習に来てくれるようになり生徒達に質の高い指導や自らコートに入り一緒にプレーをしてくれたりと生徒達のモ



チベーションを高めてくれている。もう一人は、大橋雅道（現阿見町役場）である。毎日仕事を終えたと練習場に姿をあらわし、生徒達と練習をしてきている。前述した大山とは違いシングルスが得意で主にシングルのスパーリングをしてもらっている。高校時代はもちろんバドミントン部に所属し、同部の黄金期を築いた一人である。栃木県のインターハイでは、メンバー変更ができず一軍のメンバーは大橋一人あとは二軍の選手達で戦わなければならない状況でチーム戦のなか見事に全勝し、二軍のチームを率いて全国大会で準優勝した。その後、日本大学へ進学しインターカレッジのシングルスで



ベスト8になり、現在は茨城県成年男子の国体選手として活躍中である。

その他にもOB・OG会の会長の小林さん副会長の小松崎さんや高値さん数多くの支援を受けて活動しています。また、県外のOB・OGが多いため各地域に遠征した際にもいろいろと応援をしてもらいホームに近い環境で試合ができることもあります。

今後は、自分の子供や地域の子供達をジュニアで育成していただき常総学院へ是非入学させて下さい。

最後に同窓会の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

部活動実績

運動部

■硬式野球部

5月 春季関東地区高校野球茨城県大会 第3位／春季関東地区高校野球大会 ベスト8

7月 第86回全国高等学校野球選手権大会茨城県大会 準優勝

9月 秋季関東地区高校野球大会茨城県大会 準優勝

■テニス部

5月 関東大会県予選出場／高校総体県南予選出場

8月 茨城県夏季青少年大会県南予選出場

9月 茨城県新人テニス大会県南予選会出場

■男子バレー部

5月 関東高校男子バレーボール大会県予選 ベスト8

6月 全国高校総合体育大会予選ベスト8

7月 第12回関東市立高等学校男女バレーボール大会

9月 茨城県市立高等学校バレーボール大会 ベスト4

■男子バスケットボール部

4月 春季関東大会県南予選 2

回戦

5月 高校総体県南予選 2回戦
8月 夏季県南大会出場

■女子バスケットボール部

4月 春季関東大会県南予選 1回戦

5月 高校総体県南予選 1回戦

8月 夏季県南大会出場

■サッカー部

5月 春季関東大会県南予選 ベスト16

6月 高校総体県南予選 ベスト8

7月 茨城県トレセンU-17に秋山俊介・岡田英之が選抜される



■ラグビー部

5月 関東大会県南予選 5位

6月 第52回ラグビーフットボール春季関東大会Gブロック 4位

5年連続出場

■男子バドミントン部

4月 関東高校バドミントン選手権大会県予選男子団体 優勝

5月 関東高校バドミントン選手権大会県予選男子団体 優勝

権大会男子団体 ベスト8

6月 高校総合体育大会県予選男子 優勝/シングルス1位須藤聡史 2位小松崎佑也 3位木村成明 4位糸井 忍/ダブルス1位糸井・木村 2位小松崎・羽石 3位青山・倉持 4位日下部・笹井

8月 全国総合体育大会男子団体 ベスト32/シングルス須藤聡史 ベスト16 小松崎佑也 ベスト32 /ダブルス糸井・木村 ベスト16 小松崎・羽石 ベスト32

9月 全日本ジュニア選手権大会 シングルス須藤聡史 ベスト16 小松崎佑也 ベスト16 /ダブルス糸井・木村 出場

4月 関東高校バドミントン選手権大会県予選男子団体 優勝

5月 関東高校バドミントン選手権大会女子団体 出場

6月 高校総合体育大会県予選女子 優勝/シングルス1位福岡沙由美 2位藤野亜友 3位菊山久美子 4位高野祥子/ダブルス1位上野・浅野 2位福岡・藤野 3位菊山・高野

8月 全国総合体育大会女子団体 ベスト32/シングルス福岡沙由美

美2回戦 藤野亜友出場/ダブルス福岡・藤野2回戦 上野・浅野出場

9月 全日本ジュニア選手権大会 高野祥子出場/ダブルス福岡・藤野出場

4月 茨城大学柔道会会長杯 男子団体 優勝

5月 第52回関東高等学校柔道大会県予選 男子個人 優勝中山裕一 3位横張清輝/第53回全国高校柔道大会茨城予選会 男子個人 優勝100kg級中山裕一 3位100kg級村山智彦・大林裕貴 90kg級中山裕一 ベスト8 100kg級伊藤 将・90kg級糸賀祐司・81kg級小倉良真 女子個人 3位63kg級倉持はるな 男子団体 優勝

6月 第52回関東高校柔道大会 男子個人 中山裕一出場/国民体育大会予選会 男子個人 準優勝 無差別級中山裕一

7月 第53回全国高校柔道大会 個人 100kg超級中山裕一

4月 県南地区春季剣道大会男子 2回戦 女子1回戦

5月 春季関東大会県予選男子団体

体ベスト16 女子団体1回戦

6月 高校総体県予選男子団体1回戦 女子団体2回戦/国体県南予選出場

9月 県南秋季剣道大会男子団体 1回戦 女子団体1回戦

5月 茨城県総合体育大会 男子走り幅跳び4位・三段跳び2位 征矢晋吾

6月 関東高校陸上競技大会 男子走り幅跳び6位・三段跳び2位 征矢晋吾

7月 学年別陸上競技会 男子砲丸投げ6位丸山佳祐

8月 全国高校総合体育大会 男子走り幅跳び 征矢晋吾

6月 第59回茨城県陸上競技選手権大会 一万m4位箕輪美穂・高橋美佳 五千m競歩3位熊倉昌代

7月 第77回関東陸上競技選手権大会 一万m出場箕輪美穂・高橋 五千m競歩出場熊倉昌代

8月 国民体育大会予選会 五千m競歩出場熊倉昌代

9月 第45回茨城県高等学校陸上競技新人大会 三千m8位箕輪美穂

■女子駅伝部

6月 第59回茨城県陸上競技選手権大会 一万m4位箕輪美穂・高橋美佳 五千m競歩3位熊倉昌代

7月 第77回関東陸上競技選手権大会 一万m出場箕輪美穂・高橋 五千m競歩出場熊倉昌代

8月 国民体育大会予選会 五千m競歩出場熊倉昌代

9月 第45回茨城県高等学校陸上競技新人大会 三千m8位箕輪美穂

■水泳部

5月 茨城県南地区水泳競技大会
 6月 第58回国民体育大会茨城県大会兼第53回高校選手権大会男子優勝 女子入賞
 7月 第40回茨城県民総合体育大会兼関東高校県予選会 男子優勝／平成16年度関東高等学校水泳競技大会 男女出場
 8月 平成16年度全国高等学校総合体育大会 男子100m・200m平泳ぎ出場堀井隆太 男子400mメドレーリレー出場田井中彬・堀井隆太・大須賀史哉・久保田晃
 9月 第59回国民体育大会夏季大会 男子200m平泳ぎ6位堀井隆太 男子400mメドレーリレー8位堀井隆太 男子200m混合リレー6位大須賀史也 シンクロ出場倉持亜那・住吉美奈子

■ゴルフ部

6月 関東高校ゴルフ選手権大会 97位石川 112位柳元 123位会田 130位中島
 7月 関東高校ゴルフ選手権女子決勝大会 14位松本夏美
 8月 全国高校ゴルフ選手権大会 女子の部 63位松本夏美

■パワーリフティング部

6月 第20回茨城県高等学校パワーリフティング選手権大会 男子団体優勝 個人60kg級1位新井雅樹 3位瀬尾広樹 67・5kg級3位藤波竜生 4位豊島樹 75kg級叶龍範 4位長塚佳紀 82・5kg級1位山縣智仁 3位小林雄希 82・5kg級1位渡辺裕次 2位梅澤孝太 女子60kg級1位浅岡美晴

8月 第22回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会 男子団体4位 個人75kg級7位叶龍範 82・5kg級2位山縣智仁 82・5kg級2位渡辺裕次 5位梅澤孝太 女子60kg級4位浅岡美晴 67・5kg級3位高山典子

9月 二〇〇四年世界ジュニアパワーリフティング選手権大会(南アフリカ共和国) 100kg級5位渡

迎裕次

■卓球部

4月 関東大会県南予選 男子団体3位
 5月 春季関東大会県予選 男子団体ベスト16
 6月 高校総体県予選 男子ダブルス2回戦宮本智明・迎恭輔

8月 全日本選手権ジュニアの部

県南予選 男子ダブルス ベスト8迎・柴田組 シングルス柴田貴弘ベスト16 大島史也ベスト32

9月 バタフライカップ 男子

大島史也ベスト8／全日本選手権ジュニアの部県予選 男子ダブルス3回戦迎・柴田組 シングルス2回戦柴田 1回戦大島女子ダブルス 1回戦飯田千登勢・中根美樹組

文化部

■吹奏楽部

8月 茨城県吹奏楽コンクール金賞
 9月 東関東吹奏楽コンクール金賞

■JRC部

4月 霞ヶ浦盲人マラソン／あし

なが募金活動

5月 献血呼びかけ／あしなが募金／骨髓BAN Kボランティア
 6月 骨髓BAN Kボランティア
 7月 東西インカレボランティア
 8月 県南地区JRC地区大会／シルトピア夏祭りボランティア
 9月 災害義援金

■応援指導部

7月 高校野球応援
 7月 チアリーダー部
 7月 二〇〇四バレーボール東西インターカレッジに応援参加／高校野球応援



■演劇部

7月 第18回県南A地区高等学校演劇祭

■写真部

コンテスト10月開催



宿泊学習in福島

中等部1年

中等部第一学年主任 大毛 道弘

八月二六日から一泊二日をかけて福島県で宿泊学習を実施しました。病院、裁判所をはじめアクアマリンふくしま、野口英世記念館、会津大学を見学してきました。生徒は、それぞれに「何か」を感じて帰ってきたようです。



●病院の見学を通して

病院は、競争するところではなく、医者や看護師、薬剤師の人たちなどみんなが協力して治療にあたる場所だということがわかりました。

大内 舞

●裁判所の見学を通して

裁判官席においてあった六法全

書を見て、「自分も将来これ全部覚えるのか」と思い、「英単語を覚えることなんか簡単だな」と感じました。

川崎 巨輝

●アクアマリンふくしまの見学を通して

さまざまな魚について知ることができました。一番びっくりしたのは、この水族館が世界で初めてサンマの飼育に成功したということです。大衆魚であるサンマの飼育がそれほど難しいものだったなんて、とても意外でした。

戸邊香穂里

●野口英世記念館の見学を通して

母シカの手紙にとっても感動しました。そこには、読み書きのできないシカの「自分の気持ちを英世に伝えたい」という精一杯の心が込められていました。

川田 唯

●会津大学の見学を通して

授業はすべて英語とか、学生一人あたり一台以上というコンピュータの多さに驚きました。図書館も広く、学ぶには最適の場所だと感じました。

寺門 真梨

●宿泊学習を終えて

友達との信頼関係が深まったと思います。友達とたくさん話しをしたり、夜に布団を敷くときもみんなで協力しあったりなど、友達の

よいところをたくさん見つけることができました。

安藤 成美

研修旅行を終えて

中等部2年



中等部二年 金久保 祐介

この夏、僕たち2年生は、国内研修旅行として、京都・奈良を訪れました。その中でも、特に印象に残ったことについて幾つか書きたいと思います。

研修旅行において、僕が最も印象に残り、楽しめたと感じたのは、二日目の班別行動です。班別行動では、ジャンボタクシーの運転手さんに各種寺院等に引率してもらい、その寺院についての説明を受けました。運転手さんは、京都・奈良の寺院や歴史にとっても詳しく、いろいろと参考になる話もして下さいました。中でも、鹿苑寺金閣の拝観は感動的でした。

金閣は、聞いていた以上に金色で美しく、「こんなに立派な建物を別荘にするなんて、足利義満將軍は本当にえらい人だったのだろうな。」と思いました。もちろん、そこでも運転手さんはいろいろな話を聞かせてくれました。「ここから写真を撮れば一番きれいに写るよ。」「金閣の裏にある小さな滝は、鯉の滝登りの様子を表現していて、滝を登りきった鯉は、竜になれるんだよ。」と、ガイドブックにも載っていないような細かい話もしてくれました。運転手さんには色々とお世話になり、本当に感謝しています。

その後、あいにく雨が降ってしまったりして、みんなビショビショになりながらお寺を拝観したり



と天候に恵まれなかった時もありましたが、それらもまた、良い思い出となりました。いろいろありましたが、京都・奈良研修旅行、十分に満喫することができました。

カナダホームステイ

高等部
2年

高等部第二学年担当 **長瀬 明雄**

常総学院のホームステイプログラムにはいくつか特色があります。まず一つ目は日本では経験できない陸路で国境を越すことです。

今回はアメリカ・シアトルから入国し、バスを利用してカナダへと国境を越えました。

特色の二つ目としてストリート・トーク、つまり街中を歩いて英語を使う体験が多くあるということです。スターバックスコピーを访れコピーを購入する。もちろん英語で注文するわけです。自分で選んだレストランに行って昼食を頼む。メニューも英語、オーダーも英語です。こうした地元の人々と同じ体験をすることで、滞在地に親しみが湧いてくるのだと思います。

三つ目は現地の老人ホームを訪問すること。ここでは折り紙、空

手など日本の文化を紹介します。

こういった経験は自らが日本人であるというアイデンティティを感じさせてくれる貴重な体験となります。お年寄りの方々喜んでくれたの言うまでもありません。

本来の目的であるホームステイにも特色があります。一世帯に常総学院生は一人。他に頼るものはありませんので生徒はホストファミリーと積極的に会話をするようになります。最初の数日はコミュニケーションがうまくいかずに悪戦苦闘です。しかし拙い英語でも話せば通じるというのが分かってくると、次第にステイが楽しくなってくるようです。週末を過ぎると生徒はみなカナダ人の顔になつてきます。すっかり生活に溶け込むのです。若者の適応性には引率で行く度ごとに感心させられます。余談ですが今年最終日のみが雨になりました。これはみんなの涙雨ですか？

常総学院高校のホームページに今回のプログラムのことが掲載されていきます。雰囲気がよく伝わるのではないかと思います。ぜひ一度ご覧になってください。

高等部二年 **宮本 紘樹**

出発当日、僕は楽しみと不安と緊張でいっぱいでした。成田空港に着いても心が落ち着きませんでした。しかし飛行機に乗ると妙に心がワクワクしてきました。

シアトル到着後、市内観光をし、バスでカナダ・バンクーバーに向かいました。目的地に近づくにつれて不安と緊張がピークにきて、恥ずかしながら家に帰りたいと思つてしまったほどです。そしてついに自分のホストファミリーを紹介されました。頑張って英語で自己紹介をし、車に乗ってファミリーの自宅に向かいました。その間、車外を眺めていると、日本とは異なった光景が多数目に入りました。つまらない話ですが、車に乗るときは当然日本とは反対側から乗り込みました。そんなことも僕目には新鮮に映つたのです。

ホストファミリーとの生活は英語だけの生活です。今だから言えますが最初の週はかなり辛かったです。しかし二週間目になるとだいたい英語にも慣れて、ホストファミリーとの生活は実に楽しいものになりました。休日には一緒に買い物をしたり、映画を見たり。ま



た週末は友人とのパーティがよくありました。日本の週末の過ごし方とは異なる点が印象的でした。

そういつた中で僕の中ではカナダを経験したのが一番の思い出です。日本では出来ない経験が出来て本当に感動しました。今振り返ってもあつという間の十七日間でした。

今回のホームステイで感じたのは、英語が多少話せなくてもジェスチャーでコミュニケーションがとれるということです。またカナダの人々は行動、考え、すべてのことが前向きでした。またいつも優しく笑って僕らに接してくれました。すべて忘れません。この貴重な体験をぜひ今後の生活に活かしていければと思います。

宇信高校ホームステイ

高等部2年

高等部第二学年担当 永井隆正

韓国への修学旅行は、今年度の二学年で十一年目となります。八年前からは、韓国の高校との交流会も始まり、年々充実した修学旅行となつていきます。そして、一昨年から、七月下旬に宇信高校の生徒が本校で語学研修を行うようになり、ますます交流を深めていきます。

今年度は、七月二十二日(木)～三十一日(土)の十日間、三十名の宇信高校の家庭でのホームステイ体験が実現しました。

今回のホームステイでは、中学三年生から高校三年生までの幅広い学年からの協力があり、各家庭で色々と工夫をして頂きました。和服を着て茶の湯を体験したり、日光への旅行を通じて日本の文化遺産に触れたり、家族みんなでバレーやゲームをしながらお互いの文化について語り合ったりと、大変中身の濃い体験ができたようです。なによりも、その体験が本物であったことを証明していたのは、最終日の宇信高校生たちを見送る時だったでしょう。本校ロータリー

前で、お互いの生徒代表の挨拶が終わり、バスに乗り込む時間が来ても、見送りに来た本校生徒や保護者のみなさんたちと、宇信高校の生徒たちは別れを惜しんでなかなか出発することができません。あちこちで別れの涙、握手、抱擁。泣き顔を見せまいと必死に涙をこらえて、笑顔で別れを告げる生徒たち。今、思い出しても感動的なシーンに心打たれます。

ホームステイというのは、単に文化交流の場ではなくて、人の心のあたたかさや思いやる心、人と人とが睦み合うことの大切さを心に刻ませてくれる場だということ、改めて感じさせてくれました。



高等部二年 沢田洋平

親が『冬のソナタ』を見始め、韓国に興味を持ち、僕も韓国人と話してみたいと思い、二泊三日のホームステイを引き受けました。韓国人に会うのは初めての事なので、韓国語の本を買って予習していましたが、初対面は緊張して

思い通りに話せませんでした。しかし、初対面でもキム・ドンヒュク君は積極的に日本語で挨拶してくれて、習い始めとは思えないほど日本語が上手くて驚きました。

最初はぎこちない会話でしたが、家族に助けられながら日本語・英語・韓国語・ジェスチャーを混ぜて話していくうちにだんだんとお互いの言いたい事が伝わるようになりました。ドンヒュク君は真面目で誠実ですが時々冗談なども言っていてとても親しみやすいので二人で夢中で語っていると時間がたつのが早く思えました。

二日目は僕の友達数人と昼からボーリングやサッカーなどをして遊びました。宇信高校の生徒は勉強ばかりしているのかと思いきや運動神経も良く、また驚かされてしまいました。友達も泊まることになり、その日は夜遅くまでドンヒュク君と騒ぎました。

せっかく親しくなれたのに二泊はとても短く感じられ、別れの日がすぐ来てしまったことが残念でなりませんでした。辛かったけれど笑顔で気持ちよく見送ってあげることができました。

最初はどうかと不安で

したが、この三日間で音楽、食べ物、勉強など韓国の文化についてたくさんを知ることができました。日本のアーティストや日本のドラマが韓国でもよく知られていて、韓国には日本のことが好きな人が多くいて、ドンヒュク君もまた日本が大好きだと聞きとても嬉しく思いました。韓国と日本の文化は似ている所がありますが、韓国の高校生は日本の高校生よりかなり勉強熱心で僕も見習わなきゃなあと思いました。

今回、短い期間でしたが、とても貴重な経験ができて良かったので、今年の修学旅行に行くのがとても楽しみです。





同期会を終えて

第一期中学卒業 末信 香奈

「もう来年は成人式だけど、中学校が地元ではないから成人式に行っても余り楽しくない。どうせなら中高を共に過ごした仲間を祝えないかな」

この言葉が同期会を開くきっかけになりました。それは卒業一年目の秋に、常友祭に遊びに行った時のことです。

そのほうがきつと楽しいねと盛り上がり、この話をさっそく中学からお世話になっている先生にお話しました。すると、心から賛同してください、本格的に企画として学校へお願いしてみることになったのです。その後、先生方のご尽力もあり、中学校校舎を会場として使用させていただけることになりました。

企画当初は、五十人も集まれば

よいのではないかとの予測だったのですが、当日は七十人を超えた参加者があり、不参加だった同級生の中にも、都合がつけばぜひ参加したかったという声が多く寄せられました。今更ながら私たちが一期生の結束力を感じ、嬉しく思いました。当日急遽友人たちに手伝いをお願いしても、快く引き受けてもらえるというのは、六年間を共に過ごした仲間だからこそだと思うのです。当日会うまでは、楽しみもあり不安もあるという複雑な気持ちでしたが、会ってしまえば二年間のブランクをものともせず、在校時代に戻ったかのように、会話に花が咲きました。いえ、二年間という歳月があったからこそ、在校時より様々なことを話せたのかも知れません。

企画内容としてはビンゴゲームと立食会だけで、時間は二時間だったのですが、積もる話も多く、皆食べることより話すことに夢中になっていました。

企画から準備、当日の進行も大変でしたが、最後には参加してくれた友人たちから楽しかったという感想が寄せられ、企画して本当によかったと、とても嬉しく思



ました。同期会を開くことを承諾していただいた校長先生を始めとする諸先生方、手の届かなかったところをフォローしてくださった保護者の方々、本当にありがとうございました。おかげで無事同期会を終えることができました。同期生各位、またお会いしましょう。

『援慈会』発足に当たって

常総学院応援指導部援慈会広報委員

第五期生 嶋田 登

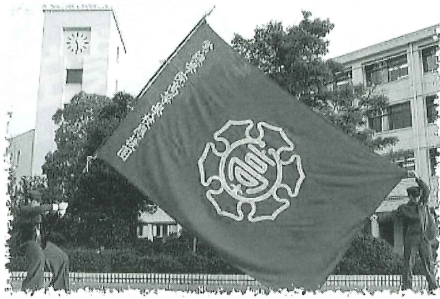
皆様はじめまして。第五期卒業生の嶋田と申します。

僕は在校時、応援指導部に所属し、部訓でもある「礼儀・根性・団結」心を三年間を通じて学びました。また、僕達の代では、硬式野球部が三年連続全国大会に出場し、甲子園のアルプススタンドで応援を繰り広げる事が出来ました。改めて硬式野球部に感謝すると共に、当時の出来事は、僕自身高校時代一番の思い出です。

話題を題目に戻しますが、応援指導部も創部以来二十年が経過し、また昨夏の硬式野球部全国制覇を機に、本年五月二十二日をもって正式にOB会を発足する運びとなりました。正式名称は『常総学院応援指導部援慈会(えんじかい)』です。当会は、会員相互の親睦を図り、現役団員の充実発展に協力し、ひいては母校の発展に寄与する事を目的に結成されました。

当会は、飯田会長・大塚副会長以下、幹事長・会計監査および各期から選任される幹事をもって役員構成されています。また、総務・

援 慈 会



会計・広報の各機関を設けています。主だった年間行事は、規約にも定めている年一回の総会と、随時行われる役員会の開催、それに現役団員の卒業に合わせて行われる入会式等があります。

また、広報委員では、情報発信の場として公式サイトを開致致しました。サイト上では、当会の活動報告はもとより、現役団員達の活躍ぶりも紹介しておりますので、皆様も是非当サイトにアクセスしてください。なお、アドレスは http://www.geocities.jp/j_enjikai/ です。

また、卒業生の皆様にもお願いがあります。援慈会公式サイトでは、

歴代の応援団を画像にて紹介しておりますが、資料が足りないのが現状です。そこで、もし歴代応援団の写真をお持ちの方がいらっしゃいましたらお貸し頂けないでしょうか？詳細は、広報Web制作担当 (j_enjikai@yahoo.co.jp) までメールを頂ければ幸いです。

最後に私事で恐縮ですが、在校生時代に築き上げた愛校心が災いし(？)、特に部活動で一番携わった硬式野球部の活躍を願ひ、私設応援サイトを開設しています。サイト名は『常総学院私設応援指導部』で、本校公式サイトからリンクさせて頂いておりますので、援慈会共々よろしくお願ひ致します。



常総学院中学校・常総学院高等学校

平成17年度 入学試験要項

区 分	中 学 校			高 等 学 校	
	推薦・専願入試	一般入試第1回	一般入試第2回	推薦入試	一般入試
募集コース	医学部コース・法学部コース・東大コース			特進コース・特技コース	特進コース
出願期間	平成16年 11月22日(月) ～12月7日(火)	平成16年 12月14日(火) ～12月27日(月)	平成17年 1月10日(月) ～1月25日(火)	平成16年 12月16日(木)・17日(金) (平成17年1月11日追加出願日)	
試験日	平成16年 12月12日(日)	平成17年 1月7日(金)	平成17年 1月28日(金)	平成17年 1月12日(水)	平成17年 1月19日(水)
試験科目	国語・算数 面接試験	4科 国・算・理・社 2科 国・算 選択	4科 国・算・理・社 2科 国・算 選択	国語・英語・数学 面接試験	国語・英語・数学
合格発表	平成16年 12月15日(水)	平成17年 1月11日(火)	平成17年 1月31日(月)	平成17年 1月17日(月)	平成17年 1月26日(水)

お問い合わせ

〒300-0489 土浦市中村西根1010番地

中学校/TEL.029-842-0708 高等学校/029-842-8771

URL <http://www.joso.ac.jp>

平成十七年度

鴻志寮

新設!

学習寮開設準備室

室長 阿部英樹

昭和五十八年開校以来、茨城県内屈指の『文武両道の進学校』となるべく、学習面や部活動面で努力してきましたが、二十年が経過した現在、その目標に少しずつ近づいてきたように思えます。

硬式野球部の夏の甲子園大会初優勝。吹奏楽部のアメリカ招待演奏や東京都芸術劇場での『第九演奏会』。その他の部活動においても、インターハイや関東大会出場など卒業生たちの残した伝統を引き継ぎ、日々練習に取り組んでいます。学習面においても、東大、一橋大、東北大、筑波大等の国立大学や早稲田大、慶応大、東京理科大学等の難関私立大学への合格者も年々安定しており、目標に向かって一歩一歩近づいていると思われまます。

そして更なる挑戦の一環として、平成十六年度は学習寮の新規開設準備を開始しました。修学旅行で交流のある韓国宇信高校の語学研修旅行を皮切りに、夏休みには一

部完成した寮施設を開始しました。が、正式には平成十七年度三月から利用を開始します。

学習寮の名称は『鴻志寮』です。『鴻志』とは「こうし」と読み、「大きな志」という意味です。本校に入学した生徒たちが、将来の「夢」を達成するために日々努力し、卒業時には第一志望の大学に合格して行けるように、そして大卒卒業後は、本当に自分がなりたい仕事につき、世の中の役に立てるようにという願いを込めました。



鴻志寮は、本校から4kmほど離れたところに位置しますが、A棟、B棟、C棟と食堂を有するかなり大きな施設です。A棟を恒常的な寮生のための施設として、B・C棟は中学一年生から高校三年生

図書館の夜間開放について

の全クラスを対象に、『短期集中方式の学習合宿』を実施するための施設として利用する予定です。ホームページに鴻志寮について詳しく紹介していますので是非ご覧ください。

本校図書館には以前から、生徒及び保護者から図書館の夜間開放を求める声が多く寄せられていました。夜間利用の条件として「下校の際に、保護者の迎えが確約できる者」を明記の上アンケートを実施したところ、百七十名以上の生徒から「夜間まで利用したい」との回答が返ってきました。予想以上の反響に我々職員一同も生徒の希望を実現したいと考え、今年の六月より夜間開放を実施しました。平日のみ、開館時間を午後九時四十五分まで延長して開放しています。

利用しています。そして教職員の夜間当番も特別編成し、図書館職員一名と教員一名の二人体制をとり、生徒から質問も受け付けています。

また、館内は飲食禁止のため、夜間利用者のための夕食用のスペースを図書館前に設けました。そこでは一度に四十名程度が座れ、夕食をとったり、休憩したり、迎えにくる保護者との待ち合わせに

現在では一年生二十五名、二年生八十三名、三年生百五十六名の合計二百六十四名の生徒が夜間利用の許可を受け利用しています。夜間利用者は一日平均六十名位で、大学受験を控えている三年生の利用が多く、快適な環境で自学が習慣化され、定期試験にも成果が現れているようです。また、友達の勧めで夜間利用許可書を新たに申請する生徒も日増しに増えています。

図書館の夜間が開放されてから今日まで、生徒たちは昼間同様、静粛に一人一人が自分の目標に向かって、真剣に学習に取り組んでいます。

平成16年度 四年制大学合格者数

平成16年5月1日現在

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
尚美学園	1	清泉女子	3	駒沢女子	1
日本薬科	2	専修	27	学習院女子	2
江戸川	6	創価	1	東京工芸	3
川村学園女子	16	大東文化	13	麻布	1
神田外語	2	大正	6	神奈川工科	8
国際武道	1	拓殖	10	神奈川	12
城西国際	12	多摩川	12	関東学院	6
聖徳	10	多摩美術	1	神奈川歯科	1
千葉工業	31	中央	19	湘南工科	3
千葉商科	14	津田塾	4	相模女子	2
敬愛	1	帝京	35	産能	7
中央学院	8	東海	18	鶴見	2
帝京平成	9	東京家政	2	桐蔭横浜	1
東京情報	11	東京家政学院	2	田園調布学園	1
東洋学園	2	東京経済	8	新潟薬科	4
麗澤	9	東京工科	5	福井工業	2
和洋女子	5	東京慈恵会医	1	帝京科学	4
日本橋学園	2	東京歯科	1	健康科学	1
千葉科学	6	東京女子	12	諏訪東京理科	1
東京富士	1	東京女子医科	1	静岡理工科	1
亜細亜	7	東京電機	17	大同工業	1
青山学院	13	東京農業	8	中京	2
大妻女子	5	東京薬科	1	名古屋外国語	1
学習院	14	東京理科	38	名古屋学院	1
北里	8	東邦	11	名古屋商科	1
共立女子	1	東洋	23	名古屋産業	1
共立薬科	1	二松学舎	7	京都精華	1
杏林	4	日本	79	京都造形芸術	1
慶應義塾	13	日本歯科	1	同志社女子	1
惠泉女学園	1	日本社会事業	1	立命館	2
工学院	10	日本女子	9	関西	1
國學院	5	日本女子体育	2	近畿	3
国士館	13	文化女子	5	甲南女子	2
駒澤	22	法政	21	近畿福祉	1
白百合女子	1	武蔵	8	広島国際	2
実践女子	3	武蔵工業	7	南九州	1
芝浦工業	17	武蔵野音楽	1	ルーテル学院	2
上智	5	武蔵野	6		
昭和	2	明治	25		
昭和女子	4	明治学院	12		
昭和薬科	3	明治薬科	2		
女子栄養	3	明星	10		
成蹊	1	立教	16		
成城	7	立正	17		
聖心女子	5	早稲田	32		

国公立大学	94
私立大学	1092
計	1186

今春も80パーセント超が現役合格！
進路指導室も完全リニューール

進路指導室長 菅 谷 博 之

本年四月より、これまでの進路指導部は、中学、高校の進路指導部を統括し新たに進路指導室としてスタートしました。同室は、お預かりした生徒全員が現役で四年制大学に合格できるよう、日夜指導を続けております。

内進六ヶ年の三コース（東大コース、医学部コース、法学部コース）、高校より入学する三カ年コース（東大コース、特進コース、特技コース）いづれについても、生徒自身が将来の職業に対する夢

を抱き、本校卒業時には、現役で大学合格という形で第一歩が踏み出せるよう指導しております。さらに全員が高三の二学期始めまでに教科書を終了し、残された期間の授業では、入学試験に直結した演習授業を行うなど、柔軟性に富んだ展開がなされております。

本年度、本校が依頼を受けている指定校推薦者枠は、過去最高の四五〇名を超えております。これも、常総学院を巣立っていった卒業生皆さんの活躍の賜物と考えて

おります。しかし、近年在校生の多くは、指定校推薦には目もくれず、一般受験で大学に挑戦する者も増え、相当数の指定校推薦枠が埋まっていないのも現状です。進路指導部としても生徒の意気込みに喜びを覚えると共に複雑な心境です。

さらに、今年度より新たな進路指導室の企画として、後輩へ受験への貴重なノウハウを伝える目的で『桜咲く2004 in常総』という合格体験談集を発行しました。先輩方の受験体験談を熟読し、在校生にも是非現役合格を手にしてもらいたいと願っております。

また、昨年度より進路指導室内が完全リニューアルされ、生徒用パソコンは常時インターネットの接続が可能となりました。各大学の過去の問題集も五年分が自由に閲覧でき、貸し出し



桜咲く2004 in常総 合格体験談集

英語科

職員室だより

昨年度谷村教頭、斉藤信子先生が定年退職されましたが、この四月から、岩本先生が中学に、佐藤公治先生が高校に異動し、また新たにブラッドリー・ステント先生が高校の英語科に加わるという形で英語科も一丸となって頑張っています。

中学でのニュージランドのファームステイも今年で七回目、今生徒達は滞在先になるそれぞれのファームに送る手紙を英語で書いてりしながら準備を進めています。また、英検受験も恒例となっていますが、一月の学校受験に先立ち、十月の外部受験にも約七割の生徒が応募していて、そのサポートにも忙しい毎日です。わが校では中一は四級、中二は三級、中三は準二級が標準ですが、高校終了段階

である二級に挑戦する生徒も多く、(今年の六月には中二生が合格しました) サポートのし甲斐もありました。高校ではステント先生が一年生の特技を除く全クラスでオーラルコミュニケーションの授業を担当しています。先生は実は柔道の黒帯の持ち主で、職員室だけではなく、放課後には柔道場でもその姿を見ることが多いのです。今年の夏には三七名の高二生が、カナダのバンクーバーに行き、ホームステイをしました。英語科から、長瀬先生、佐藤先生が引率教員として参加しましたが、生徒たちは皆大いに学び、大いに楽しんだようです。大変充実したのになりました。また、同じ時期に韓国字信高校の生徒がわが校の生徒たちの家にホームステイをしました。が、コミュニケーションは英語が

中心で、英語の重要性がわかったという声も随分と聞かれ、三月の修学旅行に向けて、二年生全員にこのことを知らせなければと考えているところです。高校ではやはり受験指導が中心、高三生は目前に控えた受験のために必死に勉強しています。十月の定期試験が終われば、特編授業が始まりますが、我々も志望校に合わせたきめ細かい指導の準備を始めています。また、現高二生からはセンター試験でリスニングが導入されますので、その対策も昨年から始めています。大学入試の英語はコミュニケーションなものへと変わってきておりますので、その対策には万全を期していますが、同時に、外進生の場合、公立の中学での英語教育が新指導要領の下、文法が軽視され、特に発信(話す、書く)の力が低下しており、高一、高二の段階でその基礎を作り上げなければいけないという課題も出てきています。どの教科でも同じ



国公立大学

大学名	人数
東京	3
北海道	4
東北	6
北見工業	1
弘前	2
宮城教育	1
山形	5
茨城	14
筑波	6
埼玉	8
千葉	3
お茶の水女子	1
電気通信	5
東京外国語	1
東京学芸	1
東京工業	1
東京海洋	3
東京農工	1
一橋	1
富山	1
大阪	1
鹿児島	2
鹿屋体育	1
釧路公立	2
青森公立	1
茨城県立医療	5
高崎経済	2
群馬県立女子	1
東京都立	1
東京都立科学技	1
横浜市立	1
都留文科	1
防衛大学校	5
水産大学校	1
職業能力開発総	1

私立大学

道都	5
北海道東海	1
北海道工業	1
酪農学園	3
北海道医療	1
仙台	2
東北工業	1
東北薬科	1
いわき明星	2
茨城キリスト教	10
常磐	6
流通経済	28
つば国際	4
足利工業	1
獨協医療	1
白鷗	3
国際医療福祉	10
文星芸術	1
上武	3
東京福祉	3
高崎健康福祉	1
群馬社会福祉	1
武蔵野学院	1
東京国際	1
埼玉工業	9
明海	10
城西	7
駿河台	2
聖学院	1
獨協	14
文教	3
文京学院	4
目白	2
十文字学園女子	4
埼玉学園	1

ですが、新指導要領によって高校入学時の学力が下がっているにもかかわらず、大学入試のレベルは変わらないであろうという現実には正面から取り組む毎日です。

■平成15年度 常総学院高等学校同窓会決算書■

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

●収入の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 1.会費, 2.雑収入, 3.前年度繰越金, 合計.

●支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 1.消耗品費, 2.通信運搬費, 3.印刷製本費, 4.会議費, 5.旅費交通費, 6.部活動補助費, 7.記念品費, 8.広報費, 9.雑費, 10.次年度繰越金, 合計.

上記のとおり決算しました。平成16年4月9日

常総学院高等学校同窓会会長 飯田 晃久

平成15年度決算について

- 1 収入の部
入会金・同窓会費、予算どおり収受した。
2 支出の部
同窓会会報発行・郵送、野球部・柔道部・パワーリフティング部・バドミントン部の各部活動へ部活動補助、卒業生・新入生への記念品等の事業活動を、支出は極力経費の節減に努め、ほぼ、予算通りに達成された。第85回選抜高校野球出場に際し会員の皆様よりの寄付のご協力を賜り有難うございました。

■平成15年度 常総学院高等学校同窓会予算書(案)■

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

●収入の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差異, 備考. Rows include 1.会費, 2.雑収入, 3.前年度繰越金, 合計.

●支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差異, 備考. Rows include 1.消耗品費, 2.通信運搬費, 3.印刷製本費, 4.会議費, 5.旅費交通費, 6.部活動補助費, 7.記念品費, 8.雑費, 9.広報費, 10.次年度繰越金, 合計.

平成16年度予算について

平成16年度予算は、平成16年度の事業計画と平成15年度の収支実績を勘案して編成した。

- 1 収入の部
卒業生の入会金、会費615名、会員年会費300名を収納予定として計上して計上した。
2 支出の部
本年度の事業計画は、①第五回同窓会会報の発行②会員への同窓会会報の郵送③各部活動への補助④卒業生・新入学生への記念品が主なものである。これに基づき予算を編成した。

常総学院高等学校同窓会会務分担表. Table with 4 columns: 担当, 本部役員, 学校, 主な業務. Rows include 総務, 経理, 会報, 名簿, 事務局, 監査.

今回の会報は四ページを増やすことができました。より充実した内容でお送りすることができたのではないかと思います。まだまだ掲載したい記事があります。また、誌面の都合上、次号となります。今後、給食の歴史、制服の歴史、代々学校に贈りした卒業記念品などの特集を考えております。ぜひ情報をお寄せください。次号もご期待ください。
我が常総学院同窓会は十九期生を迎えることができました。ますますの発展のため、今後共よろしくお願ひ致します。
末筆ながら同窓生の皆様のご活躍をお祈り致します。
同窓会総務 久保田 美幸
編集委員 一同

同窓会事務局より
常総学院高等学校同窓会総会開催のお知らせ
日時 平成17年4月17日(日)
場所 常総学院高等学校 午前10時から
会員皆様の多数の出席をお待ちしております。
悪質な電話(勧誘)にご注意
同窓会あるいは同窓会事務局と名乗って、電話などで強引に勧誘する事件が発生しています。不審な勧誘を受けた場合には、即答せず同窓会事務局までお問い合わせください。
情報をお寄せください。
会員皆様より情報を募集いたします。特に、同期会、クラス会開催等、卒業生の活躍に関する情報をお待ちしています。 ☎029-842-8771